

真誠

「夢を育てる潜在意識」

副校長 奥山 奈菜子

展示会には、たくさんの方の保護者の皆様にご来校いただき、本当にありがとうございます。ありがとうございました。子供たちは、思い思いに自分の作品を制作していました。創造性を膨らませて創る個人の作品。学年で協力し、一つのことに集中し、力を合わせて創りあげた共同作品。児童一人一人が作品のパーツを作り、大作を仕上げた全校作品があります。それぞれに心がこもり、鑑賞された何人もの方々より、素晴らしい作品に感動しましたというお言葉もかけていただきました。子供たちをたくさん褒めていただきありがとうございます。今回、展示会のために、子供たちはたくさんの方々の力を発揮し、多くの方々に感動を届けることができました。

さて、この大切な素晴らしい子供たちの将来に、大人ができる支援はどのようなことだろうと考えてみました。

私たちの心の中には、決意したり、判断したり、選択したりする心の領域である「顕在意識」と、過去における考え方、

学校だより
No.8

西東京市立
田無小学校

平成 30 年
12 月 3 日

児童配布

欲望や直感力などの「潜在意識」があります。普段使っているのは顕在意識の方で、潜在意識は眠っている状態です。しかし、潜在意識は誰もがもっている人間本来の力で、願いや思いを叶える大きな力になります。夢が叶うまで努力する人、途中で挫折する人の違いは、潜在意識をうまく活用できるか否かにかかっています。「クラスで勉強が一番できるようになりたい」と思ったときはやる気満々だったはずなのに、なぜ挫折してしまうのでしょうか。その原因は、できない、だめだ、無理だと否定的に考えてしまう思い込みの「メンタルブロック」にあります。人間は成人するまでに多くの否定的な言葉を聞かされて育っているといえます。メンタルブロックは、子供が一生懸命挑戦しようと思っっていることに、大人が失敗体験や否定的な言葉を言うことにより徐々に形成されていきます。メンタルブロックが出てくると、無限の可能性を秘めた潜在意識は、子供の目標達成の気持ちにブレーキをかけてしまいます。言葉では「今度こそ一番になるぞ」「今度こそ絶対に勝つぞ」等と言っても、心の中では「どうせ一番に

はなれない」「勝てるわけない」という意識が邪魔をしてしまい、途中で挫折してしまうことが多いようです。

子供たちの夢を叶えるための鍵は、いかにメンタルブロックを外すかにかかっています。子供が一生懸命挑戦しようとしていることには、危険を伴うものではない限りは、否定的な言葉や失敗体験を話したり伝えすぎたりせず、挑戦させてあげて欲しいと考えます。そして、子供たちがホッとできる、リラックスしている時間には、子供たちの夢の源、「潜在意識」を上手に使い、子供たちが夢を叶えられるように支援していきましょう。

今月は二学期まとめの時期です。子供たちが新しい年を迎えるに当たり、ご家庭でも是非、子供たちにどんなことを目標にし、その目標はどのような形で実現していくかと考えるのかなど、一緒に話していただきたいと思います。そして、子供たちの将来が明るく素晴らしいものになるよう、子供が前向きに物事に取組めるよう私たち大人がしっかりと手を携えて育てていきたいと考えます。三学期、私たち教員も、「知的に熱中できる授業」を展開し、子供たちが楽しく学べる環境を整えていきたいと考えています。保護者の皆様、今学期も教育活動にご協力をいただきありがとうございます。よいお年をお迎えください。

十二月の主な行事予定	
1 土	展示会 土曜授業
3 月	児童朝会 委員会 持久走CP始 クリーンアップ始 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4 火	はつらつタイム 避難訓練 保護者会一二 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5 水	午前授業
6 木	児童集会 保護者会三四
7 金	理科見学六 保護者会五六わ
10 月	児童朝会 五時間授業 水曜時程
12 水	午前授業
13 木	音楽集会
14 金	持久走CP終 クリーンアップ終 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
17 月	児童朝会 五時間授業 水曜時程
19 水	午前授業
20 木	児童集会 五時間授業 水曜時程
21 金	午前授業 給食終
23 日	天皇誕生日
24 月	振替休日
25 火	終業式
26 水	冬季休業日始



※今月のスクールカウンセラー来校日は、6日、13日、20日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

一つの事をひたむきに

五年学年主任 稲葉

五年生の学年テーマは、「一途一心」です。これは、「目の前の一つの事に、ひたむきに真摯に向き合うこと。一生懸命に心を砕いて取り組むこと。」という意味があります。高学年になり、学校全体に関わる仕事をするようになりました。また、下級生と一緒に活動し、お手本となる機会も増えました。その時に、どのような行動をするのか、自分たちで考えるように声をかけています。

委員会活動では、みんなのために仕事をするこの大切さを感じながら、一生懸命働く姿が見られます。自分の分担の日には、「先生、〇〇委員会の仕事に行ってください！」と、責任をもって行動している様子が見られます。そして、周りも、「A君、〇〇委員会だね。がんばれ！」などと応援してくれます。

「はつらつ遊び」の日には、下級生が楽しく遊べるようにルールを工夫したり、順番を譲ってあげたりする姿が見られます。授業中も、みんな真剣に取り組み、積極的に発言しています。セーフティ教室では、体育館の準備と片付けを五年生が担当しました。よく働いてくれたので、あつという間に準備・片付けができました。

「一途一心」に行動すること。

その意味をみんなで分かち合いながら、六年生に向けて進んでいきたいと思います。



展覧会

図工専科 阿部

今年の展覧会スローガンは、「豊かな思いをのびのびと」でした。展覧会は、児童が今まで授業で積み重ねてきたものを、作品を通して味わう学校行事です。展示された作品は、材料を使ってどう表現するか考え、自分の気持ちに向き合って丁寧に制作されました。

一年生は紙粘土で「ドールDEカーニバル」を作りました。腕の動きや服装などを工夫しながら、自分の好きなものを楽しみながら表現しました。二年生は紙版画で「おいも、ほったぞ！」を刷りました。何枚も切った紙を貼り合わせて、元気に芋掘りしている姿の版を作りました。三年生は「ギョギョトン木の子さん」で、初めて鋸で木を切りました。木の欠片から思いを広げ、根気強く取り組みました。わかば学級は共同作品「トーマポール」を作りました。一人一人が色画用紙を切り抜いて顔を作り、貼り合わせて表現しました。四年生は「トントンつないで」で、木と木をつなげて動く仕組みを学びました。そこから発想を広げて、個性あふれる立体作品を作りました。五年生は木版画で「靴の散歩道」を刷りました。自分の靴をテーマに、インクの色や版の置き方など表現の仕方を工夫しました。六年生は共同作品「ドリームハウス」を作りました。作りたいものを友達と相談して決め、グループに分かれて協力し合いながら理想の家を組み立てました。

発想を広げる難しさを知った経験から、友達の作品を真剣に鑑賞する児童の姿が多く見られました。ご家庭でも作品について、お話ししていただければと思います。

外国語活動

外国語担当 金子

「英語を嫌いにさせないでください。」

これは、ある中学校の英語の先生から、聞いた言葉です。小学校でも、外国語の授業が始まり、私たち教員も一生懸命教材研究をしています。「どういう意味なんだろう。」と思い、真意を聞いてみたところ、こんな答えが返ってきました。「小学校の先生は、真面目だから、教科書の進め方どおりに進めようとする。英語をもって自由で楽しいものなんだよ。」この言葉を聞いて、小学校の英語で大切なのは、「子供たちと一緒に英語を楽しむこと。」なのだと思えました。授業で行うゲームは、ミッシングゲーム、ゴーゲームなど、楽しく英語に親しむ工夫がされています。また、ICT教材を使い、リズムにのった英語遊びや歌などを取り入れ、英語と触れ合い、楽しみながら英語を身に付けることができるよう指導を進めています。

読書月間

司書 島原

読書月間が終わりました。校長先生の「あらゆるよるに」の読み聞かせや、「トムテの会」のお話会。本の中の食べ物や給食の献立に出たこと。また、今年が多読者と紹介カードの代表者にプレゼントがある企画もありました。色々な場面関わってくださった方、ありがとうございました。子供たちも楽しみながら本に親しめたと思います。